

覧古考新

岡谷市史編さん室だより『覧古考新』No.22

2024(令和6)年 10月

岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷市史編さん室 編集・発行

岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3F

TEL 0266-78-8455

WEBはこちら



覧古考新：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

シリーズ 岡谷市史下巻以降のおもなできごと ⑪ 防災一後編

広報誌などから旧市史＜岡谷市史下巻1982(昭和57)年刊行、編年：昭和20年～昭和53年＞以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。防災一後編では、「地震」、「土砂災害」を中心に取り上げます。

西暦	和暦	年	月	出来事
2016	平成	28	4	岡谷市防災・減災基本条例施行
2020	令和	2	2	防災ガイド改訂版を発行
2021	令和	3	8	「令和3年8月大雨災害」川岸地区で土砂災害発生
2021	令和	3	9	防災倉庫がイルフプラザ平面駐車場に完成
2022	令和	6	3	岡谷市国土強靱化地域計画改訂
2024	令和	6	8	気象庁が南海トラフ地震臨時情報を初めて発表



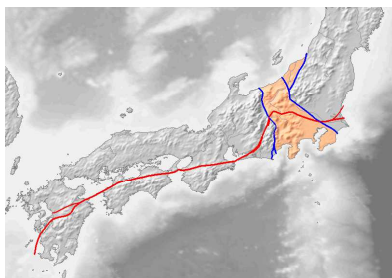
写真：2024年 市史編さん室撮影。

地震への備えは?? ～想定される二つの大地震～



岡谷市防災倉庫：防災倉庫整備事業として防災機能を有するイルフプラザ平面駐車場に隣接。防災倉庫の新たな拠点として令和3年9月新築

◆市に最も大きな影響を与える「糸魚川-静岡構造線断層帯」の全体が揺れた場合の地震では、最大震度7が想定されています。



図出典：フリー百科事典『ウィキペディア』
「糸魚川静岡構造線」 CC BY-SA3.0 (著作者 /Eskja)

豆知識 ①糸魚川静岡構造線
新潟県糸魚川市の親不知付近から諏訪湖を通過、安倍川(静岡市駿河区)付近に至る大断層線地質境界でもある糸魚川-静岡構造線によって、列島は西南日本と東北日本に分断される。このうち、明科-諏訪湖南方区間として、安曇野市から茅野市付近に至る約45kmには、松本盆地東縁断層の一部、牛伏寺断層、岡谷断層群、諏訪湖南岸断層がある。

引用文献：フリー百科事典『ウィキペディア』
「糸魚川静岡構造線」より一部引用

地震

想定地震



図出典：岡谷市防災ガイド 2020改訂版 岡谷市発行 p.7

岡谷市は、「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に基づき、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されています。岡谷市の最大震度は6弱です。



図出典：(「南海トラフ地形図」ウィキメディア
コモンズより「ベカチュウCC BY-SA 3.0」
https://commons.m.wikipedia.org/wiki/File:Nankai_trough_topographic.png#mw-jump-to-license)

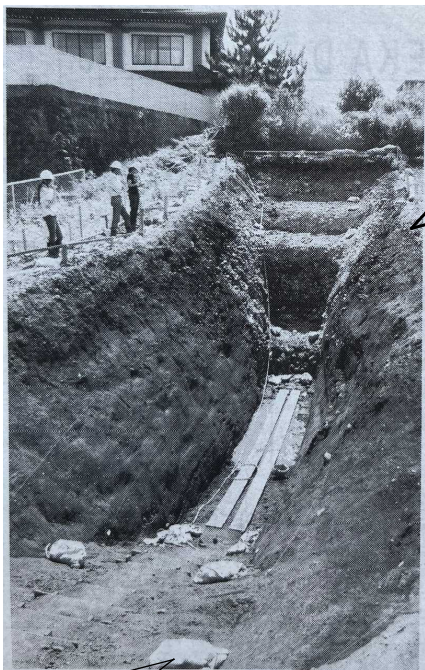
豆知識 ②南海トラフ

四国の南の海底にある水深4,000m級の深い溝<トラフ=舟状海盆>(しゅうじょうかいぼん) >数十年から数百年間隔で震源断層とする巨大地震が発生していると考えられている。

引用文献：フリー百科事典『ウィキペディア』「南海トラフ」より一部引用

震度階級 6強は略	人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況
震度6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
震度7	立っていることができず、はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたり、窓ガラスも破損したりする。

表出典：気象庁HP「気象庁震度階級関連解説表」より一部引用



トレンチ調査地点
深さ4.5m 幅6m、
長さ24mの溝状の穴



写真3

信号(写真中○)に
向かう上り坂の道路

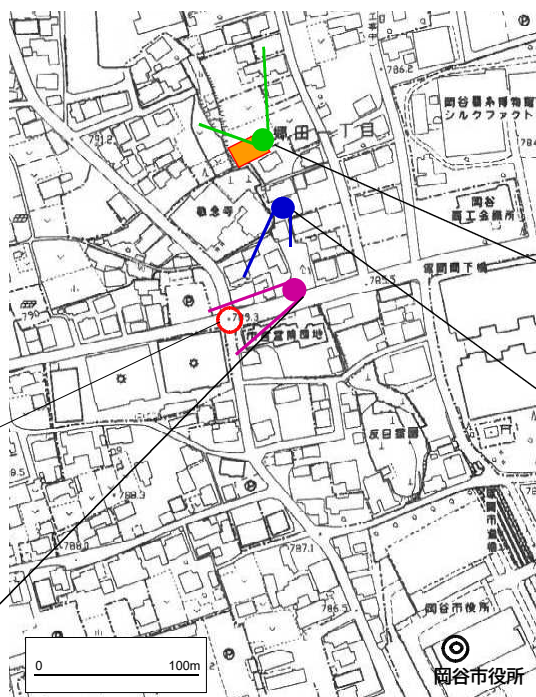
断層崖(だんそうがい)とは、断層運動によって生じた断層地形の中の一つで、断層運動で直接形成される急崖を指す。

引用文献: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

『岡谷断層の発掘調査で確認「過去4回大地震があった」』

独立行政法人産業技術総合研究所活断層・地震研究センターが岡谷市郷田1丁目で、平成24年7月からトレンチ調査を行い、約7200年前から過去4回大地震があったことが分かった。

引用新聞記事・写真出典: 『岡谷市民新聞』 平成24年8月23日発行 第1面 (株)岡谷市民新聞社提供



地図: 2020年 岡谷市都市計画基本図 1/2500 (部分複写)

岡谷断層の位置
「糸魚川－静岡構造線
活断層系ストリップマップ」
岡谷市HP



写真1

画面奥に向かって続く断層崖
を鉛筆



写真2

断層崖の斜面に沿って立つ
フェンスの角度から、崖で
あることが分かる

写真 3枚: 2024年 市史編さん室撮影

土砂災害とは・・・

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地すべりの3種類に分類されます。(国交省等による)

* 土砂崩れと土石流の違い(用語としての使い分け)についてはここでは扱いません。

下表出典: 「土砂災害ハザードマップ作成ガイドライン」
令和2年10月 国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課 p.1

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



ひとロメモ

地域に語り継がれる
災害の呼び方
「満水」「山津波」
「鉄砲水」「蛇抜け」
などを、後世に伝える
ことの大切さ。

土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。
流速 20~40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



画像出典: 平成18年7月豪雨災害の記録
「忘れまじ豪雨災害」2009年 岡谷市発行 p.9

地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。
一般的に広範囲に及び、移動土壌量が多いため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



岡谷市における
地すべりへの
警戒



出典: 「土砂災害警戒区域位置図 及び
土砂災害特別警戒区域位置図 自然現象の
種類、長野県 岡谷市、地すべり」

寺田寅彦の警句「天災は忘れた頃にやってくる」

寺田 寅彦(てらだ とらひこ) 明治11年 - 昭和10年 物理学者、随筆家、俳人



もしもへの備えは
できていますか?